

家庭での「男女共同参画」



しがパパママスクール2020

『しがパパママスクール2020』を8月～11月にかけて全5回で開催しました。男性の家事・育児参画を目的として、「親子遊び講座」や「男性の調理講座」を行いました。第1、2、4回は『マジックパパ』代表の和田のりあきさんを講師にお招きし、高島市働く女性の家、明日都浜大津ふれあいプラザ、彦根市男女共同参画センター「ウィズ」を会場に、「子どもの力がぐんぐん伸びる！親子で楽しむふしぎ遊び」をテーマに親子で楽しみながら育児について学びました。絵本や体を使った親子遊びには、子どもを成長させる要素がいっぱい！パパも育児について納得いっぱいの講座となりました。

講師からのメッセージ(和田のりあきさん)



2年続けて『しがパパママスクール』の講師を務めさせていただいて実感したことは、子育ての景色は変わったということです。子育て支援活動を始めた10年前は、土日に子育て講座をしても参加されるのは9割がママでした。しかし、この2年間のしがパパママスクールでは参加者の過半数がパパでした。参加されたパパたちは普段から子育てに当たり前のように関わっておられる様子で、パパの子育てが特別でなくなつたことを先輩パパとして嬉しく思います。

現在子育て真っ只中のパパママのみなさん、特に乳幼児期から小学校低学年の時期の子育ては本当に手がかかって大変だと思います。でも逆に言えばこの時期に手をかけてやるからこそ、小学校中学年になってから子どもたちは親の手を離れて自立に向かいます。一番手がかかる時期は一番可愛い時期もあります。ぜひ、この可愛い時期の子育てを楽しんでください。

私の2人の娘は17歳と13歳です。手がかかる時期は過ぎて親に反発ばかりするお年頃です。さっき書いたばかりのことと逆のことを書きますが、この時期の子どももとっても可愛い。つまり我が子はいつまでも可愛いのです。

しかし、子どもはいつか巣立っていきます。家族での生活を夫婦で工夫して乗り越えることが、将来の子どもの自立につながります。子どもに大人としてのいい見本を見せてやってください。喧嘩しては仲直りする夫婦の関係もその見本の一つです。



パパと子どもの調理講座



パパの調理講座

結婚後、男女の家事・育児時間には大きな差が生じ、そのことが女性の就業やキャリアアップに影響を与えています。男性が家事育児において主体的な役割を果たしていくことが、ますます重要になっています。

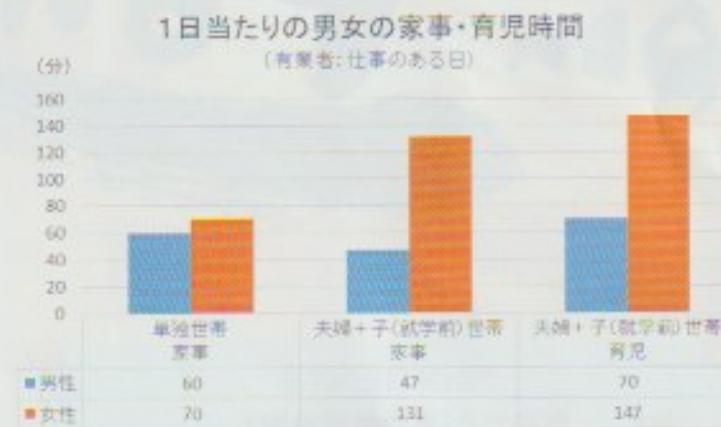
マジックパパ代表
和田のりあきさん

Profile

主夫、地域ボランティア、保育園園長、NPO法人ファザーリング・ジャパン関西理事長として合計500回以上の子育て講座、親子レクリエーション活動を行う。「笑てるパパがええやん！」を合言葉に、楽しく子育てるパパを増やしたいと活動を進めている。



パパの育児参画講座



令和2年度内閣府男女共同参画白書より